



かるかる

2013年 **6** 月 vol.213

作曲家の ラブライター

石田純一 & 熊本マリ

響ホール開館20周年記念



朗読：石田 純一

ピアノ：熊本 マリ

©Akira Muto

ショパン、リスト、シューマン、ブラームス——。

大作曲家たちの想いが込められた名曲を情熱のピアニスト・熊本マリが奏で、
彼らが遺した「ラブライター」を人気俳優・石田純一が朗読します。
恋愛について熱く語り合うトークコーナーも見逃せません！

プログラム

- 〈ショパン〉 ノクターン 第2番 変ホ長調 作品9-2
プレリュード 第15番 変ニ長調 作品28-15「雨だれ」
- 〈リスト〉 愛の夢 第3番 変イ長調
ペトラルカのソネット 第104番
- 〈シューマン〉 子どもの情景よりトロイメライ
献 呈 (リスト編)
- 〈ブラームス〉 ワルツ 第15番 イ長調 作品39-15
間奏曲 イ長調 作品118-2

※曲目順が変更になる場合がありますので予めご了承ください

2013.7.14日

開演 15:00 (開場 14:00)

北九州市立響ホール

八幡東区平野1-1-1 (国際村交流センター内) TEL 093-662-4010

【主催】(公財)北九州市芸術文化振興財団

【共催】北九州市 【後援】NHK北九州放送局、北九州音楽協会

TICKET

全席指定席
一般 3,500円
U-25 2,000円
(当日各500円増)

*U-25...この公演では、1987年以降生まれの方が全て対象となり、学生以外も含まれます。入場時にチケットと一緒に年齢が確認できる証明書を必ずご本人様にご提示ください。

チケット好評発売中！

※本公演は、「音楽家の逸文」(クルト・バレン著/池内紀訳/西村書店)をもとに構成されています。



お問合せ

(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 TEL093-663-6661

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1丁目1-1 響ホール内【受付時間】9:00~18:00(土・日・祝日を除く) <http://www.kicpac-music.jp/>

北九州芸術劇場



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州6F ●電話/093-562-2655 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩3分 バス:「室町・リバーウォーク」徒歩1分 ●開館時間/公演によって異なります。

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	木の上の軍隊 故井上ひさしが最後に残した幻の作品を上演。主演:藤原竜也 ほか	1(土)	13:00	S席 ¥8,500 A席 ¥5,500 B席 ¥3,000 (当日各¥500増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
		2(日)	13:00		
	門司地域発信型映画「レトロの愛情」	9(日)	12:00 16:30	大人、大学生、高・中学生 ¥2,000 (当日¥500増) 小学生 ¥1,000 (当日¥300増) 3歳以下無料	門司地域発信型映画作成実行委員会 (海峡プラザ内) 093-332-3121 (日田)
	DRUM TAO 20周年記念舞台作品 火ノ鳥〜祝祭編〜	13(木) 14(金)	19:00 19:00	SS席 ¥7,000 S席 ¥6,000 A席 ¥5,000	株)タオ・エンターテイメント 092-721-2015 (岡田)
	北九州歌謡グランドフェスティバル 水森英夫審査会	16(日)	10:15	¥1,000 (15才以下無料)	北九州歌謡研究会 093-921-4652
	第13回 北九州民謡民舞音楽祭	22(土)	11:00	一般 ¥1,000 子ども ¥500 (小・中学生)	民謡俊潮会 093-592-7386
	第109回 北九州交響楽団定期演奏会	23(日)	15:00	大人 ¥1,300 学生(小学生以上) ¥800 (当日各¥200増)	北九州交響楽団事務局 (ディーキューブギャラリー内) 093-533-3456
	モスクワ・フィルハーモニー交響楽団	26(水)	19:00	A席 ¥10,000 B席 ¥7,000 C席 ¥5,000	北九州労音 093-571-0227
中劇場	上野香織Jazz Concert 2013	7(金)	19:00	¥3,000 (当日¥500増)	上野香織 Supporters club 080-3907-1202
	イクウメ「獣の柱 まとめ*図書館の人生(下)」 奇妙な隕石を拾った話を含む長編のSF年代記。出演:池田成志 ほか	9(日)	14:00	¥4,200 (当日¥200増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
	北九州市民劇場6月例会 加藤健一事務所「モリー先生との火曜日」	22(土)	13:30	会費 ※市民劇場会員以外の方は お問合わせ下さい。	北九州市民劇場 093-541-0075
		23(日)	13:30		
		24(月)	18:30		
		25(火)	13:30		
		26(水)	12:00		
		27(木)	18:30		
28(金)		13:30			
29(土)	13:30				
オリエンタルな宝石達 YOSHIKOベリーダンススタジオ発表会	30(日)	15:00	¥2,500 (当日¥500増)	YOSHIKO ベリーダンススタジオ 090-8620-0327	
小劇場	ピアノ発表会	2(日)	13:30	無料	大木ピアノ教室 093-581-1546
	ハイバイ 10周年記念ツアー 「て」	11(火)	19:00	一般 ¥3,000 (当日¥500増) 学生 ¥2,500 (当前共通・要学生証提示)	北九州芸術劇場 093-562-2655
		12(水)	19:00		
		13(木)	19:00		
	第3回 Ardent Concert	23(日)	14:00	¥1,000	津田 将弘 090-1929-3779
名越フラダンススクール発表会	30(日)	14:00	¥500 (前売のみ)	名越フラダンススクール 093-471-7018	

北九州芸術劇場

市民ギャラリー



●住所/小倉北区室町1-1-11 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-2520
●開館時間/10:00~19:00※催し初日は準備が終わり次第開場、最終日は17:00まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩3分 ●年末年始

イベント	期間 (時間は上記)	入場料	問合せ先
第11回九州電力OB作品展 絵画、書道、陶芸作品、工芸品、手芸、写真、彫刻	5(水)~11(火)	無料	九電OB会 093-980-5560
第1回北九州ぬくもりアート展 絵画、書道、陶芸作品、工芸品、手芸	12(水)~18(火)	無料	NPO法人 北九州小規模連 093-931-1886
楽書会書展 書道	19(水)~25(火)	無料	楽書会 093-592-1009
白龍日本画会展 絵画	6/26(水)~7/2(火) 10:00~18:00	無料	白龍会 093-451-1400



演劇・舞踊



音楽



美術・展示



etc. 映像・その他催し

北九州市立響ホール

●住所/八幡東区平野1-1-1 ●電話/093-662-4010 ●駐車場/240台(有料) ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩15分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩10分、「国際文化交流センター」徒歩2分

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
第67回 北九州合唱祭 Bob Chilcott:A Little Jazz Mass より	2(日)	13:00	¥800	福岡県合唱連盟 北九州支部 093-602-7609 (関根)
中村紘子ピアノリサイタル J.S.バッハ/F.プソーニ編:シャコンヌ ほか	8(土)	15:00	一般 ¥5,000 Uチケット完売 ¥3,000 (U-25は学生問わず、要証明) ※全席指定	(公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 093-562-3611
第2回 ソノリテコンサート 子供から大人までの発表会	9(日)	13:00	無料	ソノリテ 093-631-5325 (三藤)
吉田恵美ピアノリサイタル ショパン:バラード第1番 シューベルト:さすらい人幻想曲 ほか	15(土)	17:00	¥2,000 (当日¥500増)	北九州ピアノアカデミー 093-692-1209 (吉田)
九州交響楽団 第54回 北九州定期演奏会 ロッシェニ:歌劇「セヴィリアの理髪師」より序曲 ほか	16(日)	15:00	一般 ¥3,500 学生 ¥1,500 会員 ¥2,500	九響チケットサービス 092-823-0101
後藤ピアノ教室発表会	23(日)	13:00	無料	後藤ピアノ教室 093-931-2685 (後藤)

出光美術館(門司)

●住所/門司区東港町2-3 ●電話/093-332-0251 ●開館時間/10:00~17:00(入館は16:30まで)
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩8分 車:「門司IC」約10分 ●休館日/月曜日(展示替期間、年末年始)

イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
青木木米と三代山田常山ー煎茶陶芸の系譜 江戸の文人・青木木米や、急須の人間国宝・三代山田常山の代表作を展示。	6/7(金)~8/25(日)	一般 ¥600 高校・大学生 ¥400 中学生以下無料 (保護者同伴)	出光美術館(門司) 093-332-0251

関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

●住所/門司区西海岸1-3-3 ●電話/093-331-6700 ●休館日/6/11(火)
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/9:00~17:00

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
筑前琵琶「平家物語」演奏会	2(日)	11:00 13:00	無料	関門海峡ミュージアム (海峡ドラマシップ) 093-331-6700
海峡ドラマチックライブ オールディーズ中心のライブ(ホストバンド:トレジャーボックス)	16(日)	12:00 ※雨天中止	無料	

旧門司税関

●住所/門司区東港町1-24 ●電話/093-321-4151 ●休館日/なし
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩3分 ●開館時間/9:00~17:00

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1階	アトリエ野の花 ニットソーイング作品の展示。	7(金)~14(金) 9:00~17:00 ※7(金)は12:00から、 14(金)は16:00まで	無料	門司港レトロ 総合インフォメーション 093-321-4151
	墨心会 水墨画作品展	20(木)~24(月) 9:00~17:00 ※24(月)は16:00まで	無料	
2階	日韓友好作品展 建築・インテリアの写真、デザインスケッチ等約100点の展示。	12(水)~18(火) 9:00~17:00 ※18(火)は15:00まで	無料	
	雲城山焼陶芸グループ作陶展 陶器の展示。	20(木)~24(月) 9:00~17:00 ※24(月)は16:00まで	無料	
1・2階	こんしん行脚展「-あのね! 母さん...」 母子のおたやかな育みあいを祈る作品展示。	6/28(金)~7/3(水) 9:00~17:00	無料	

門司港レトロ展望室

●住所/門司区東港町1-32 ●電話/093-321-4151 ●休館日/年4日
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩5分 ●開館時間/10:00~22:00(カフェは21:00まで)

イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
天空ジャズ(トニックオブノーツ)	1(土)	18:30	門司港レトロ展望室入館料金必要 大人 ¥300 小人 ¥150	門司港レトロ 総合インフォメーション 093-321-4151

門司市民会館

●住所/門司区老松町3-2 ●電話/093-321-2907 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩13分 バス:「関門トンネル車道口」徒歩2分、「レトロ東本町1丁目」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	北九州市制50周年記念 木下恵介生誕100年 松永文庫特別企画 映画上映会 ①映画 「この天の虹」 ②講演 「船を守る。映画を守る。」 ③映画 「喜びも悲しみも幾年月」	2(日)	①10:30 ②12:26 ③13:10	無料	門司市民会館 093-321-2907

ジャンルごとに色分けして表記しています。

 演劇・舞踊  音楽  美術・展示  etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので
必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

門司市民会館



●住所/門司区老松町3-2 ●電話/093-321-2907 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「門司港駅」徒歩13分 バス:「関門トンネル車道口」徒歩2分、「レトロ東本町1丁目」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	菜玉会 藤扇菜玉一門会	9(日)	11:30	¥2,000	藤扇菜玉 093-321-8713
	門司港レトロ選抜歌謡祭 カラオケ発表会	16(日)	9:30	無料	門司港レトロ選抜歌謡祭実行委員会
	釣宏歌の祭典 カラオケ発表会	30(日)	9:20	無料	カラオケ喫茶 釣宏 093-332-4536

アルモニーサック 北九州ソレイユホール (旧九州厚生年金会館)



●住所/小倉北区大手町12-3 ●電話/093-592-5405 ●休館日/年末年始 毎月1回(不定休) ●開演時間/公演によって異なります
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩30分、「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/80台(有料)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	島津亜矢コンサート2013 ~曙光~	4(火)	14:00 18:30	S席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000	株鈴木企画 092-285-4864
	北九州市民文化大学 文化講演会 講師:「増位山 太志郎」氏	8(土)	13:30	関係者 (随時募集)	北九州市民文化大学 093-522-5008
	松山千春コンサートツアー2013 「夢破れて尚」	10(月)	18:30	¥7,875 全席指定	株 BEA 092-712-4221
	さだまさしコンサートツアー2013	14(金)	18:30	¥8,400 全席指定	株キョードー西日本 092-714-0159
	坂東流 第3回 信知寿の会	16(日)	11:30	¥3,000 全席自由	信知寿の会 093-371-6006
	北九州記念混声合唱団 第30回定期演奏会	23(日)	14:30	一般 ¥1,000 学生 ¥500 全席自由	北九州記念混声合唱団 093-871-0656(坂本)
	同窓会コンサート ~青春のヒットソングス~	26(水)	14:00 18:00	S席 ¥6,800	ソワード株 0956-22-2036

到津の森公園



●住所/小倉北区上到津 4-1-8 ●電話/093-651-1895 ●休園日/毎週火曜日
●アクセス/バス:「到津の森公園前」徒歩1分 ●開園時間/9:00~17:00

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
	生誕100年「マサコ・ムトー人間展 ~手のひらのしあわせ豆紙人形~」 旧門司市出身の、光を失った彼女が織りなす小さな希望の作品たち	~6/16(日)	無料 ※入園料が必要	到津の森公園 093-651-1895

北九州市立小倉城庭園



●住所/小倉北区城内1-2 ●休館日/なし ●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩約10分、「西小倉駅」徒歩約7分
●開館時間/9:00~18:00(11月~3月は17:00まで)受付は閉館30分前迄 ●電話/093-582-2747

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示室	ポーラ・コレクション 絵双六にみる近代の女性とおしゃれ 明治~昭和時代の女性に関する絵双六や化粧道具等約90点展示。	~6/18(火)	9:00	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	北九州市立小倉城庭園 093-582-2747
	筆心会会員展 筆心会会員による書道作品展。	6/29(土) ~7/7(日)	9:00	小倉城庭園入館料 一般 ¥300 中学生 ¥150 小学生 ¥100	

北九州市立こども文化会館(併設到津市民センター)



●住所/小倉北区下到津 4-3-2 ●電話/093-592-4152 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始
●アクセス/バス:「小倉北特別支援学校」徒歩1分、「金田陸橋西」徒歩5分 ●駐車場/20台 ●開館時間/9:00~17:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
児童劇場	第105回ファミリー人形劇場 家族で楽しめる人形劇 出演:「ぶんちゃっチャ」・「人形ボードヴィル ドラ」	9(日)	14:00	無料 幼児以上(未就学児は保護者同伴)	こども文化会館 093-592-4152
	狂言を楽しむ会 狂言を体験してみよう! 演目:柿山伏 出演:八幡大蔵会	25(火)	10:00	無料 小学生以上	

北九州市立視聴覚センター



●住所/小倉北区城内4-1 ●電話/093-561-3131 ●休館日/毎週月曜日(月曜祝日・振替休日の場合は開館翌日休館)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山公園」徒歩1分、「北九州市役所」徒歩5分 ●開館時間/9:30~18:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	子ども映画会 「にんぎょひめ」・アメリカンアニメの映画3本ほか。	9(日)	14:00	無料 (先着 50名)	北九州市立視聴覚センター 093-561-3131
	週末映画会(洋画「黄金の七人」)	15(土)	14:00	無料 (先着 50名)	
	クラシック・レコード・コンサート モーツァルト作曲:協奏交響曲K.364ほか。楽曲の解説あり。	16(日)	14:00	無料 (先着 50名)	
	週末映画会(邦画「社長漫遊記」)	22(土)	14:00	無料 (先着 50名)	

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ

●住所/小倉北区大手町11-4 ●電話/093-583-3939 ●休館日/所内整理日(毎月最終木曜日及び年4回の第2木曜日)、年末年始
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩15分 バス:「ソレイユホール・ムーブ前」徒歩1分 ●駐車場/有り(有料) ●開館時間/9:30~21:30

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	ピアノの発表会	8(土)	13:00	無料	大平音楽教室 093-473-6965
	女声合唱団ビオレッティ定期演奏会	9(日)	14:00	¥1,000	女声合唱団ビオレッティ 090-6292-3348 (荒牧)

北九州市立美術館分館

●住所/小倉北区室町1-1-1 リバーウォーク北九州5F ●電話/093-562-3215 ●開館時間/10:00~20:00(入館は19:30まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分、「小倉駅」徒歩10分 バス:「室町・リバーウォーク前」下車 ●休館日/会期中無休

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
ホール	切り裂かれたキャンバス〜「マネとマネ夫人像」をめぐる 泊 篤志(飛ぶ劇場)作・演出による名画とコラボレートした注目の演劇公演	15(土)	13:00 16:00	¥1,000円 (当日¥200増)	北九州芸術劇場 093-562-2655
		16(日)			
		22(土)			
		23(日)			

北九州市立文学館

●住所/小倉北区城内4-1 ●電話/093-571-1505 ●開館時間/9:30~19:00(土日は18:00まで)※入館はいずれも閉館時間30分前まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩15分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「北九州市役所前」徒歩2分 ●休館日/月曜休館(月曜日が祝・休日の場合は翌日)、年末年始

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	第14回特別企画展 生誕110年 林芙美子展 一風も吹くなり 雲も光るなりー 北九州市出身の作家林芙美子の自筆資料、ゆかりの品などを展示	~6月9日(日)	一般 ¥500 中高生 ¥200 小学生 ¥100	北九州市立文学館 093-571-1505

北九州市立松本清張記念館

●住所/小倉北区城内2-3 ●電話/093-582-2761 ●開館時間/9:30~18:00(入館受付は17:30まで)
●アクセス/JR:「西小倉駅」徒歩5分 バス:「小倉城・松本清張記念館前」徒歩1分 ●休館日/なし

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
企画展示室	清張サロン「『断碑』の周辺」 【講師】松本常彦(九州大学大学院教授)	3(月) 14:00~16:00	無料 ※要申込 (常設展示室を閲覧の場合は別途入場料が必要)	松本清張記念館友の会・ 松本清張記念館 093-582-2761

小倉井筒屋

●住所/小倉北区船場町1-1 ●電話/093-522-3111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩7分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は16:00に閉場いたします。

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
大画廊	~美しい日本を描く~ 佐藤忠彦 油絵展 日本各地の茅葺屋根民家を描いた作品展。	5/29(水)~6/4(火)	無料	小倉井筒屋 大画廊 093-522-2521
	井口由多可 油彩画展 ~ヨーロッパ浪漫の旅、日本風景も交えて~ 旅情豊かな風景画を紹介。	5(水)~11(火)	無料	
	鈴木英人 作品展「ここには楽園の風がながれている」 福岡県出身のイラストレーター鈴木英人氏の作品展。	12(水)~18(火)	無料	
	茶道具逸品展 人気作家の茶陶、大徳寺派老師による墨蹟など茶道具の逸品を展示。	19(水)~25(火)	無料	
	日本画・洋画 版画展	6/26(水)~7/2(火)	無料	
小画廊	MUSIC BOX FAIR 2013 オルゴールの世界展 スイス・リュージュ社の手作りシリンドラーオルゴールを展示。	5/29(水)~6/4(火)	無料	小倉井筒屋 小画廊 093-522-2521
	20世紀の三大巨匠 ピカソ・ミロ・シャガール版画展	5(水)~11(火)	無料	
	~茅葺き民家 里山を描く~ 四方道夫 油彩画展 心とむ日本の原風景を描いた作品展。	12(水)~18(火)	無料	
	~四季の彩り~ 第3回 谷口弘明 装飾画展 日本画と、京都・北山杉オブジェとのコラボレーション作品展。	19(水)~25(火)	無料	
	住吉派絵師 眞柴基浩師 佛画展 (画業40周年記念)	6/26(水)~7/2(火)	無料	

小倉城

●住所/小倉北区城内2-1 ●開館時間/4月~10月 9:00~18:00 11月~3月 9:00~17:00 ※入館は30分前まで
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩20分、「西小倉駅」徒歩10分 都市高速:大手町ランプより車で5分 ●電話/093-561-1210

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
1階歴史ゾーン	小倉城 所蔵品展 小倉城が所蔵する品々を約50点展示	~9/1(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093-561-1210
4階市民の大広間	第63回武蔵・小次郎まつり写真展 武蔵・小次郎まつりのスナップ写真等展示	14(金)~23(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	小倉城 093-561-1210
	第3回 日本のお城写真展 日本全国のお城を旅して撮影した写真を約150点展示	~6/9(日)	大人 ¥350 中高 ¥200 小学生 ¥100	

ジャンルごとに色分けして表記しています。

演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

水環境館

●住所/小倉北区船場町1-2 ●電話/093-551-3011 ●開館時間/10:00~20:00 ●休館日/年末年始
●アクセス/JR:「小倉駅」徒歩10分、「西小倉駅」徒歩10分 バス:「勝山橋」徒歩1分、「魚町」徒歩3分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
多目的ホール	水曜コンサート「シャンソンとピアノの奏へ」 歌:酒井京子 ピアノ:湯田美津子	5(水)	14:00	無料	水環境館 093-551-3011
	水曜コンサート「バイオリンとピアノの奏へ」 バイオリン:加来洋子 ピアノ:湯田美津子	19(水)	14:00	無料	

小倉南生涯学習センター

●住所/小倉南区若園5-1-5 ●電話/093-931-1286 ●休館日/毎週月曜(月曜祝日、振替休日の場合は開館し、翌日休館)、年末年始
●アクセス/バス:「小倉南区役所」徒歩1分、「企教中学校前」徒歩2分 モノレール:「北方駅」徒歩12分 ●開館時間/9:00~22:00

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	北部九州吟剣詩舞連盟第38回前期大会	9(日)	9:30	無料	北部九州吟剣詩舞連盟 093-645-5295(布谷)
展示コーナー	小倉南美術協会書部会会員会友展 書道作品	9(日)~15(土) 9:00~17:00 ※9(日)は12:00から、 15(土)は16:00まで		無料	小倉南美術協会書部会 093-473-9296(西谷)

若松市民会館

●住所/若松区本町3-13-1 ●電話/093-771-8131 ●駐車場/110台(共用) ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「若松駅」徒歩1分 バス:「大橋通り」「若松駅」「若松市民会館前」徒歩2分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	石炭積み出し港若松と筑豊炭田の歴史を学ぶ 「講演会」	15(土)	14:00	無料	若松に玄関をつくる会 093-771-9218
小ホール	石炭積み出し港若松と筑豊炭田の歴史を学ぶ 「山本作兵衛展」	15(土)~ 17(月)	9:00	無料	若松に玄関をつくる会 093-771-9218
	フラハーラウ プアレイ 「フライブント フラダンス」	23(日)	13:00	¥500	フラハーラウ プアレイ 093-791-1282
美術展示室	若松美術協会 会員展 「洋画」	6/30(日) ~7/7(日)	10:00	無料	若松美術協会 093-791-4905

北九州イノベーションギャラリー(産業技術保存継承センター)

●住所/八幡東区東田2-2-11 ●電話/093-663-5411 ●休館日/毎週月曜(月曜祝日の場合は翌日、年末年始) ●駐車場/市営駐車場(いのちのたび博物館)大型30台、普通300台(有料)
●アクセス/JR:「スペースワールド駅」徒歩5分 バス:「いのちのたび博物館」徒歩3分 ●開館時間/平日9:00~19:00※土日祝日9:00~17:00まで、企画展示室への入場は開館時間の30分前まで

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
企画展示ギャラリー	企画展「ヒトと共にあるロボット展」 人の暮らしや安心・安全などを支えるロボットを展示。	開催中~6/30日(日)		一般 ¥500 小~高校生 ¥250	北九州市、北九州イノベーションギャラリー 093-663-5411

北九州市立児童文化科学館

●住所/八幡東区桃園3-1-5 ●電話/093-671-4566 ●開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
●アクセス/バス:「市立児童文化科学館前」徒歩5分 ●休館日/毎週月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)、年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
会議室	サイエンスショー 「水に関する科学実験」	23(日)	14:30	無料	児童文化科学館 093-671-4566

現代美術センターCCA北九州

●住所/八幡東区尾倉2-6-1-3F ●電話/093-663-1615 ●休館日/展覧会によります。
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩8分 ●開館時間/10:00~17:00(但し、展覧会開催時のみ)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
	“美術放談”-市民美術大学・美術講座(前期)- 兵庫県立美術館館長 蓑 豊とCCAディレクターとの対談	15(土)	15:00	各回1人 ¥500 ※要申込	現代美術センターCCA北九州 093-663-1615
	“美術放談”-市民美術大学・美術講座(前期)- 京都市立芸術大学学長 建昌哲とCCAディレクターとの対談	29(土)			

八幡市民会館

●住所/八幡東区尾倉2-6-5 ●電話/093-671-6061 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「八幡駅」徒歩7分 バス:「八幡駅入口第一」徒歩5分 ●駐車場/110台(共用)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	キング歌謡祭 ・角川博・島津悦子・北野まち子・永井裕子・夏木綾子・池田輝郎・バク・ジュニヨン	7(金)	11:30	¥3,800	矢野楽器店 093-631-3331
	第26回 中之島流大正琴発表会	23(日)	10:30	無料	中之島流大正琴福岡県本部 093-473-6648(谷口)
	東京佼成ウインドオーケストラ 北九州公演 2013	29(土)	15:00	一般 ¥3,000 小中高 ¥2,000 (当日各¥500増)	明るい社会づくり運動 北九州地区協議会 080-3953-6090(久恒)
美術展示室	玄海愛石会水石展 自然石 約24点	1(土)~2(日) 10:00~17:00 ※2(日)は16:00まで		無料	玄海愛石会 093-201-8135(吉田)
	第15回 親しむ書作品展 書 約130点	3(月)~9(日) 10:00~18:00 ※3(月)は12:00から、 9(日)は16:00まで		無料	清和会 093-671-7248(堺)

北九州市立子どもの館

●住所/八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ7階 ●休館日/6月5日(水)、19日(水)
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 バス:「黒崎バスセンター」徒歩1分 ●開館時間/10:00~19:00 ●電話/093-642-5555

会場	イベント	期間(時間は上記)	入場料	問合せ先
館内全体	『短冊に願いをこめて』 七夕に向け、色とりどりの短冊に願い事を書いて笹に飾ります	6/22(土)~7/7(日)	無料	北九州市立子どもの館 093-642-5555

黒崎井筒屋

●住所/八幡西区黒崎1-1-1 ●電話/093-643-5111(代) ●定休日/不定
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩1分 ●展示時間/10:00~19:00※各最終日は17:00に閉場いたします。

イベント	期間	入場料	問合せ先
ヨーロッパアンティーク展 アールヌーヴォー、アールデコのガラス作品を中心に展示。	5/28(火)~6/2(日)	無料	093-643-5268
～傘寿記念～藤嶋峻峯 書画展 北九州市在住の書家・藤嶋峻峯さんの作品を、掛軸を中心に展示。	4(火)~9(日)	無料	
～初夏を楽しむ～古布の洋服と染創作服 素朴な手染めや、古布を使用した創作服の展示。	11(火)~16(日)	無料	
ハンガリー刺しゅう展 素朴で可愛い刺しゅうのブラウス、ハンカチなどを展示。	18(火)~23(日)	無料	
銅島緞通と星野民芸展 (仮題)	25(火)~30(日)	無料	

黒崎びびしんホール(北九州市立黒崎文化ホール)

●住所/八幡西区岸の浦2-1-1 ●電話/093-621-4566 ●休館日/年末年始 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「黒崎駅」徒歩5分 筑豊電鉄:「黒崎駅」徒歩8分 西鉄:市営バス:「熊手四つ角」バス停より降りてすぐ 北九州都市高速:黒崎ICから5分

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	ハーラウ フラ オ カヴァイオラ 発表会	6/8(土)	13:00	¥2,000	090-9587-8173(松尾)
	第17回都山流福岡県支部尺八演奏会	6/9(日)	13:00	¥1,000	093-603-1169(河津)
	琴凌流・大正琴演奏会	6/30(日)	10:00	無料	琴凌流愛弦会本部 093-964-6014(井ノ口)
中ホール	心を歌い、夢をつむぐ Vol.4「シャンソンコーラス」	6/2(日)	15:00	無料	ル ポワ・シャンソン 090-8227-2896
	ピティナピアノコンペティション北九州地区予選	6/15(土) 6/16(日)	11:00	無料	機ヤマミュージックリテイリング 093-531-4342
	コスモス ダンスパーティー	6/22(土)	13:00	¥999	コスモス(香山ダンス教室) 090-2968-6596(香山)

北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー

●住所/八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3階
●開館時間/9:00~19:00(入館は18:30まで)

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
黒崎市民ギャラリー	北九州芸術祭総合美術展(西日本画連盟会員秀作展) 過去の芸術祭作品より、日本画、水墨画の優秀作品を展示 62点	~14(金)まで		無料	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー 093-644-5206

北九州市立美術館本館

●住所/戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 ●電話/093-882-7777 ●休館日/月曜日(祝日・休日の場合は開館し翌日休館)、年末年始(12/29~1/3)
●アクセス/バス:「美術館口」徒歩10分、「七条」美術館口より無料シャトルバス運行 ●開館時間/9:30~17:30(入場は17:00まで) ●駐車場/180台

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
コレクション展示室1~2	ルーベンス~栄光のアントワープ工房と原点のイタリア 絵画・版画等 約80点	4/28(日)~6/16(日)		一般 ¥1,300 高大生 ¥800 小中生 ¥600	北九州市立美術館 093-882-7777
企画展示室1~2	コレクション展Ⅱ ピカソ、マティス、ルオー~巨匠たちの版画(前期) 海外作家の版画を中心に約100点	5/3(金・祝)~6/30(日)		一般 ¥150 高大生 ¥100 小中生 ¥50	北九州市立美術館 093-882-7777
市民ギャラリー	第19回Kグループ展 洋画 90点	5/28(火)~6/2(日)		無料	Kグループ実行委員会(松村) 093-582-0486
	中村康子キルトクラブ パッチワークキルト展 キルト作品 100点	4(火)~9(日)		無料	キルトクラブ(中村) 093-882-7551
	新世紀展 洋画 98点	11(火)~16(日)		無料	新世紀美術協会福岡支部(藤田) 093-791-4905
	第35回日本新工芸九州展 工芸 120点	18(火)~30(日)		無料	九州新工芸家連盟 0956-31-3094

戸畑市民会館(ウェルとばた内)

●住所/戸畑区汐井町1-6 ●電話/093-871-7200 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	市制50周年記念 ウェルとばた 初夏のをどり 戸畑区内で活動している日本舞踊の団体と女性和太鼓の団体の発表会	9(日)	11:30	¥1,000	ウェルとばた総合案内 093-871-7200

ジャンルごとに色分けして表記しています。

 演劇・舞踊  音楽  美術・展示  etc. 映像・その他催し

※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

戸畑市民会館(ウェルとばた内)

●住所/戸畑区汐井町1-6 ●電話/093-871-7200 ●開館時間/9:00~22:00
●アクセス/JR:「戸畑駅」徒歩1分 バス:「戸畑駅」徒歩1分 ●休館日/年末年始

会場	イベント	期間	開演	入場料	問合せ先
大ホール	劇団はぐるま座『峠三吉・原爆展物語』戸畑公演 日本の現状をもたらした第二次大戦の真実を伝える	11(火)	18:30	一般 ¥2,500 中高生 ¥1,000 (当日¥500増) 小学生 ¥500 (当日¥300増)	劇団はぐるま座 083-254-0516
	エンジェルハート・コンサートNo9 障がい者など400名に無料鑑賞券贈呈	22(土)	13:30	一般 ¥2,500 小中高生 ¥1,500 (当日¥500増)	エンジェルハート・コンサート実行委員会 090-1193-2525(仰木)
	チャリティー渡辺知子一座コンサート 生命が光る 決して決して決してあきらめない プロの音楽家とハンディのあるメンバー他、総勢30名の感動のステージ	23(日)	15:00	¥2,500 (当日¥500増)	音もだちClub 090-1977-8882(橋本)
	PROM2013 ポップス・JAZZ・クラシック等いろいろなジャンルの曲を演奏	30(日)	16:30	無料	(株)ヤマハミュージッククリエイト イリング小倉店 093-531-4344(宮川)
中ホール	花びらコンサート	15(土)	13:30	無料	豊福 093-661-2215
	合同ピアノ発表会	16(日)	13:00	無料	北九州楽友協会 093-622-1900(福島)
	きたきゅう#音楽塾 10周年特別講座	22(土)	14:00	一般 ¥1,000 小中高生 ¥500 親子券 ¥1,200	ガラス・ルック北九州音楽ボランティアの会 080-1542-4863(廣田)
	プチダイアナ10周年記念カラオケ大会	23(日)	10:00	無料	プチダイアナ 093-871-6535(吉田)
	ピアノ発表会	29(土)	13:00	無料	Stella 090-9723-7081(丸岡)
	第99回 音楽の広場 PAMコンサート ゲスト:平井真美子(ピアニスト・作曲家)	30(日)	14:00	一般 ¥1,000 会員 ¥500	音楽の広場 PAM 090-9605-3881(PAM事務局)

響ホール20thシリーズ Concert for KIDS
～0才からのクラシック～

未就学児(午前の部は0才から入場可、午後の部は3才以上入場可)が親子で鑑賞できる約1時間のファミリーコンサート。楽しいお話やリズム遊びなど、子どもたちが飽きない趣向を凝らしつつも、大人にも十分聴き応えのある演奏会です。

◇出演 鶴木絵里(ソプラノ)、吉川健一(バリトン)、石野真穂(ピアノ)、クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏団)

◇プログラム クライスラー/愛の喜び アンダーソン/プリंक・プレック・プレック モーツァルト/トルコ行進曲 (ほか)
*曲目は変更となる場合がございます。

北九州市立響ホール
北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター内

料金:全席指定 ※当日各500円増
■午前の部 おとな2,000円 こども1,000円(0才~小学生)
■午後の部 おとな2,000円 こども1,000円(3才~小学生)

※小さなお子さまも1名につき1枚のチケットが必要です。
※午後の部は、3才未満のお子様のご入場はご遠慮下さい。(託児サービスあり・要事前申込み)

お問合せ先 (公財)北九州市芸術文化振興財団 音楽事業課 TEL.093-663-6661

北九州芸術劇場プロデュース/市民参加企画 合唱物語「わたしの青い鳥 2013」

チルチルとミチルが幸せの青い鳥を探して旅に出る「青い鳥」のストーリーにオリジナルの詞と曲をつけ、市民の皆さんの合唱とインタビューで綴る、合唱物語「わたしの青い鳥」。さまざまな人たちのストーリーと共に生まれ、今年いよいよ10年目を迎えるこの物語。さあ、あなたも「幸せの青い鳥」を探しに、一緒に旅に出かけてみませんか?

合唱物語「わたしの青い鳥 2013」より 撮影:梅本昌裕

◇原作 メーテルリンク「青い鳥」 ◇作曲 長生淳 ◇作詞 能祖将夫
◇出演 合唱/ワークショップを受けた市民の皆さん、指揮/榎本英一
ソプラノ/大森智子(藤原歌劇団団員)、ピアノ/白石光隆、ナレーション/能祖将夫

7月 14(日)
15:00 (14:30開場)

料金:大人1,500円
こども1,000円(3歳~中学生)
※全席自由・当前共通
※2歳以下入場不可

北九州芸術劇場 中劇場

お問合せ先 北九州芸術劇場 TEL.093-562-2655

ジャンルごとに色分けして表記しています。 演劇・舞踊 音楽 美術・展示 etc. 映像・その他他し ※催しは内容など変更になる場合がございますので必ず各問合せ先又は各施設にお問い合わせ下さい。

「CulCul」を電子ブックでも閲覧することができます

パソコン版 (公財)北九州市芸術文化振興財団のホームページからご覧になれます ▶ **北九州文化** 検索
URL: <http://www.kicpac.org/> ※TOPページ左メニューの出版事業からCulCulを閲覧できます

スマートフォンのタブレット版 無料の電子ブック閲覧アプリ「ActiBook」でご覧になれます
①「App Store」または「Playストア」からアプリをインストール
②「ActiBook」アプリを立ち上げて「検索」メニューから「culcul」で検索 ActiBook

「かるかる」をPDFでも閲覧することができます

ホームページからご覧になれます ▶ **かるかる** 検索 URL: <http://www.kicpac.org/culcul/index.html>

二次コードからでもご覧になれます。

情報コーナー

■ナイロン100℃

40th SESSION「わが闘」

7月27日(土)～28日(日)午後12時半開場、同1時開演。午後5時半開場、同6時開演(28日は1時開演のみ)。

北九州芸術劇場中劇場(小倉北区室町)リバーウォーク北九州6F)。

作・演出ケラリリーノ・サンドロ ヴィッチ。出演は犬山イヌコ、峯村リエ、みのすけ、三宅弘城、大倉孝二、松永玲子、長田奈麻、廣川三憲、喜安浩平、吉増裕士、皆戸麻衣/岡田義徳、坂井真紀、長谷川朝晴。
全席指定。入場料、5500円

(当日500円増)。未就学児入場不可。託児あり(有料・定員有・要予約)。チケット発売中。
北九州芸術劇場
093(562)2655



■カルストの会

「第20回 平尾台夏の高原ピクニックコンサート」

7月28日(日)午後4時開場、同5時開演(雨天決行)。平尾台自然の郷「高原音楽堂」(小倉南区平尾台)。出演は須川展也サクセスバンド、トリオ・ロス・ファンダンゴス(アルゼンチンタンゴ)、富永裕輔(シンガーソングライター)、平岩祥子(ピアノ)。曲目はブエノスアイレスの四季(ピアノ)、ラ・クンパルシータ、ひまわりの花、トロイメライ(シューマン)。全席自由。入場料、一般2500円、小中高生1500円、親子3500円(当日各500円増)。駐車料300円、臨時バス

は少し事情が違って、ヴァイオリン協奏曲のソリストが急病で降板。曲目を変更してピアノ協奏曲をする事に決まり、お話をいただいたというわけです。
チャイコフスキーのピアノ協奏曲。バラエティー番組やCM
まわってきた代役は「カッコイイ」あの曲
M、ニユースのバックでもよく流れる名曲。トファ・レ・ド・シーと高らかにホルンで開始です。そこへピアノが下から上へ、3回ずつ和音をかき鳴らします。が、数えれば、なんと18セット。力強くひたすらに。これが「カッ



永野栄子

いろいろの
あひ

ホロヴィッツをはじめ、演奏家の成功のきっかけが、代役という事、多々あります。協奏曲などのソリストが急病になり、急遽、代わりに弾くというもの。演奏家のプロフィールで読む「代役」エピソードは、自分とは全く無縁の事だと思っていました。それが、来ちゃったんです！ 私に。ただ、今回

たっぷりとメロディを歌い上げます。
私の人生で3回目この曲、ホロヴィッツが代役で成功を収めた曲でもあります。6月23日(日)北九州芸術劇場大ホール、北九州交響楽団定期演奏会です。皆さま、ぜひお越し下さい。

コイイ！。子供の頃からの憧れで、いつか弾いてみたいとCD流しながら真似たものです。この部分、実は伴奏で、主役の第1ヴァイオリンとチェロが

運行(小倉駅北口)自然の郷。小倉南区役所コミュニティ支援課
093(951)4111(内258)

■毎日新聞社

「第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会 参加申込」
予選9月14日(土)～22日(日)。本選10月25日(金)～27日(日)。

会場は北九州市立響ホール(八幡東区平野)。ピアノ部門、小・中・高校の部。フルート部門、中・高校の部。声楽部門、高校・大学の部。バイオリン部門、小・中・高校の部。申し込みは、規定の参加申込書に必要事項を記入の上、参加料払い込み通知を添えて左記宛先まで。規定書の発売所は同社事業部、ヤマハ、河合楽器取扱店など。郵送での取り寄せは1000円分(送料300円)の定額小為替を添えて同社事業部へ。参加申込期間7月9日(火)～22日(月)必着。〒802-8651小倉北区紺屋町13番1号 毎日新聞社事業部 全日本学生音楽コンクール係。
093(511)1119



西川響貴さん(第66回大会 ピアノ部門 小学校の部 北九州大会1位・全国大会2位)

CulCul (かえる)

郵送のご案内

CulCulは、市内の主要施設に置いていますが、あらかじめ郵便切手をお送りいただければ、ご自宅に郵送いたします。郵送先の郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、ご希望回数分の切手を添えてお送りください。

A. 三つ折り定型郵便物での郵送 一回90円

B. 定型外郵便物での郵送(折りなし) 一回140円

7月号から平成26年3月号までの9回を上限といたします。

必ず、AかBいずれかと回数を明記して下さい。

切手到着後の郵送となります。
〒805-0019 北九州市八幡東区中央二丁目1の1

レインボープラザ7F
CulCul郵送係まで

CulCulの主な設置場所

市内JR駅、市民会館、市民センター、生涯学習センター、図書館、市内体育施設、北九州空港、男女共同参画センター ムーブ、井筒屋、モノレール駅など

CulCul topicトピック

リバーウォーク北九州10周年

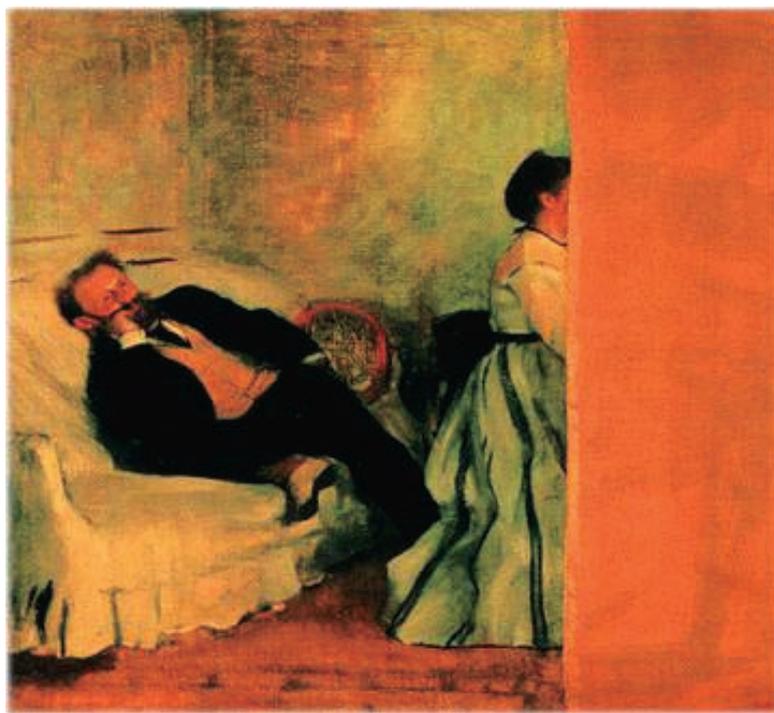
北九州芸術劇場×北九州市立美術館

切り裂かれたキャンバス

～「マネとマネ夫人像」をめぐる～

作・演出 泊篤志(飛ぶ劇場)

出演 寺田剛史、内山ナオミ、木村健二(以上、飛ぶ劇場)



エドガー・ドガ《マネとマネ夫人像》(1868 - 69)

北九州芸術劇場と北九州市立美術館がおくる、オリジナル作品。
一枚の絵画に秘められた、画家同士の愛憎と苦悩の物語。

フランス絵画史を 代表するマネとドガ

19世紀半ば、日本でもよく知られる「印象派」という名の絵画のムーブメントが始まる少し前：フランス、パリで若い二人の画家が、互いに切磋琢磨していました。この二人とは、後にフランス絵画史に残る巨匠のマネとドガ。バレリーナを描いた一連の作品で知られ、人々がふとした瞬間に見せる内面の表れを丁寧を描いたエドガー・ドガと、フランス絵画の革命児とも呼ばれ、従来の伝統を打ち破る数々の問題作を発表したエドゥアール・マネ。新たな表現を模索しつつも、古典絵画の巨匠たちへの尊敬を強く持っていた二人は、互いの技術と才能への信頼、そして共に比較的裕福な家庭の出身という共通点もあって、交友を深めます。

ドガとマネと彼の妻

北九州市立美術館が所蔵する一枚の絵、「マネとマネ夫人像」は、ドガがマネ夫妻を描いた1868～1869年の作品。

自宅のソファでくつろぐマネが描かれています。
ちよつと年齢より老けてみえますが、当時のマネは36歳。マ

ネの横に描かれているのは、妻であるシュザンヌ。二人の出会いは、なんとマネが10代の頃。弟たちのピアノの家庭教師としてマネ家にやってきた年上のシュザンヌに、マネが一目惚れしたのです。家庭教師との結婚というところで、紆余曲折を経て一緒になった二人。当時はようやく正式に結婚をし、夫婦として暮らし始めて数年がたった頃でした。

ドガが二人の姿を描いていた時、マネの横でシュザンヌは自慢のピアノを奏でていた：はずでした。愛情あふれる夫婦を描いた一枚のはずなのに、本来ピアノを弾くシュザンヌが描かれていた部分が、無残にも切り取られています。それもシュザンヌの顔を消し去るかのよう。キャンバスを切り裂いたのはマネ。愛する妻の顔を消し去る背景には、どんな理由があったのでしょうか。そしてこの絵を描いたドガとマネの関係は？

絵画に隠された物語を 演劇的手法で 浮き上がらせる

美術館に展示された作品には、それぞれ歴史と物語が隠されています。今回の公演『切り裂かれたキャンバス』～「マネとマネ夫人像」をめぐる～は、本来目にするこのできない、絵画作品にまつわる物語を、演劇的手法で浮き上がらせる試みです。19世紀のフランスに生きた画家たち。この先どんな時代が来るのか、自分たちが認められる日が来るのか、時に先が見えない焦りを感じながらも、これまでに見たことのない世界を描こうとしていた画家たちの葛藤と日々の生活。生身の肉体をもった俳優たちの対話から、一枚の絵画に潜む画家たちの姿が浮かび上がってきます。

会場は、劇場ではなく美術館分館。普段はたくさんのお客様が展示されているはずの場所、一枚の絵とじっくり向き合います。全国的にもほとんど例のない、劇場と美術館による共同企画。きつと濃密な時間を過ごすことができます。

※日時、12ページの北九州市立美術館分館の欄をご確認ください。



漫画の「ミュージアム」開設の背景には海外での日本漫画ブームがありました。

「北九州市漫画ミュージアム」を含め、漫画を収蔵する施設の開設が近年相次いでいます。その背景には、1990年代後半に欧米で起きた日本のアニメと漫画のブームがあります。かたやアジアでも、著者の許諾を得ない、いわゆる「海賊版」の形で、1960年代ごろから日本の漫画が翻訳出版されています。したが、90年代に著作権関係の条約が整備され、正式な翻訳出版が定着していきます。

海外で急増した日本漫画のファンは、より深く詳しい情報を求めて、日本政府の大使館や、日本語・日本文化を教える海外の大学に問合せをするようになりました。しかし、どちらも特に漫画の専門家がいるわけではありません。かと言って、日本に問合せを行うおうちにも、一体どこに聞けばよいのでしょうか？ 出版社は自社で扱っている作品についてしか知りません。「日本漫画家協会」など漫画家の団体も、加盟しているのは希望者のみです。

それではいけないと、学術研究団体「日本マンガ学会」が結成されたのが2001年のことです。結成をリードした京都精華大学は、あわせて「マンガ文化研究所」も同年に設置。これが「京都国際マンガミュージアム」(2006年開館)の母体となります。漫画の学術研究のために、漫画雑誌や単行本の保存に乗り出したのです。



「漫画の学術研究」と言うのが奇妙に感じられるかも知れませんが、解説困難な古典文学や高度な鑑賞を要する美術作品ならともかく、誰でも簡単に読める漫画に「研究」なんて、と。では私たちは、どうして漫画を「読める」のでしょうか？ 海外で翻訳された漫画単行本の多くには、漫画の読み方の説明がつけられています。ページを細かく区切る「コマ」や、セリフが書かれた「ふきだし」を読む順番などです。日本国内でも『小学一年生』など幼年誌では、漫画のコマに番号がふってあります。実は私たちは「学習」の結果、漫画が「読める」のではないのでしょうか。

他にも、登場人物の感情をどう絵にするか、音や動きを示す擬音語・擬態語はどう描くかなど、漫画には様々な決まりごとがあります。漫画が「誰でも簡単に読める」のは、ほとんどの日本人が決まりごとをいつの間にか「学習」してきた結果に過ぎません。ですから、漫画を読むのが苦手という方や、特に最近の作品は読みづらいという方も結構いらっしゃると思います。漫画の決まりごとが時代と共に多様化・複雑化していったからです。

Information

日本マンガ学会 第13回大会

【開催日】

2013年7月6日(土)・7日(日)

【会場】

漫画ミュージアム企画展示室など

【内容】

会員による研究発表や、「マンガとアジア」をテーマとするシンポジウムなど。

【お問合せ】

北九州市漫画ミュージアム 093(512)5077



昨年度大会開催風景(東京・明治大学)

美術

hiroba

北九州アートめぐり

キュレーター

花田 伸 一 Shinichi Hanada

「バロック＝歪んだ真珠？」

本号の特集にもある通り、北九州市立美術館本館で6月16日まで「ルーベンス 栄光のアントワープ工房と原点のイタリヤ」展が開催されています。ルーベンスは17世紀バロック絵画の巨匠と呼ばれますが、そもそもこの「バロック」という語の意味は何でしょうか？

よくある説明としては、16世紀末～18世紀半ばヨーロッパにおける芸術様式を指し、一説には「歪んだ真珠」が語の由来、といった説明が一般的ですが、そう言われてもよく分かりません。

このような場合「バロックとは何か」と単独でつきつめて考えるよりも、他との比較の上で考えた方が分かりやすいかもしれません。

美術用語で「バロック」と対



ミケランジェロ・ブオナローティ 《ダビデ像》
1504年、アカデミア美術館（フィレンツェ）

比されるのは「古典」です。つまり「バロッキング的である」ということは「古典的ではない」ということです。当時、古典的な美術といえばルネサンス美術のことです。ルネサンス美術が調和と均整を理想として静的であるのに対し、バロック美術は迫真性や装飾性に満ち動的であるというように対比されます。

たとえばルネサンスの代表ミケランジェロとバロックの代表ベルニーニ、それぞれが制作したダビデ像を見比べてみるとその違いが分かりやすいでしょう。

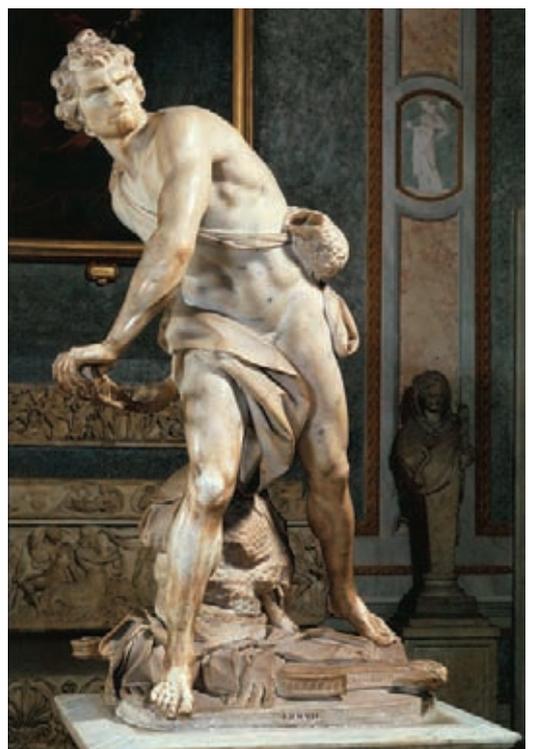
このように美術用語で「バロッキング」というと、躍動・壮大・多様・連続・装飾などの意味合いが思い浮かべられるわけですが、バロックという呼び名自体は、初め軽蔑的な意味が含ま

まれていました。後の時代の印象派や野獣派（フォービズム）などの呼び名と同じく、古典的な様式を重んじる人々からは軽蔑的に見られていたわけです。

いつの時代にも芸術の展開と社会状況とは深い関わりがありますが、バロック芸術の場合は当時のカトリック改革を背景に展開していきました。ちなみに芸術と社会の関わりを考察する興味深い研究として、バロック芸術の特徴と商品経済との共通点を見出す研究もあります。その一方で、カトリックに対抗して生まれたプロテスタントの精神性に現代の資本主義につながる共通点を見出す研究もあります。

話を戻して、古典とバロックの対比をごく単純化していえば、静的な古典美術に対して動的なバロック美術ということになります。現実には全ての物事をこのように単純にすっぱりと割り切ることはできませんが、美術の歴史を見るときの一つの手がかりとして、古典的なものとバロック的なものが代わる代わる現れては消えゆく歴史ととらえる見方もあります。

古典主義的な時代には研鑽と判断力が、逆にバロック的な時代には天才と靈感が重んじられる傾向にあるともいえますが、それでは現代の美術により求められているのは一体どちらでしょう？



ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ 《投石器を持つダビデ》
1624年、ボルゲーゼ美術館（ローマ）

文芸 hiroba

ようこそ文学館へ

北九州市立文学館 学芸員

小野 恵 Megumi Ono

市制50周年記念北九州市立文学館第14回特別企画展

「生誕110年 林芙美子展」

「風も吹くなり 雲も光るなり」
〜 林芙美子の実像に迫る 編 〜

文学館では、6月9日(日)まで、北九州市出身の作家・林芙美子の生誕110年を記念した展覧会を開催しています。展示資料数は、およそ250点。四館協働企画ならではの充実した展示内容で林芙美子の実像に迫ります。

○森本六爾との交友

芙美子は1931(昭和6)年11月から翌年5月まで、『浪記』の成功で得た印税を元に、およそ半年パリで過ごしました。滞在中は、パリ国際大学都市日本館(薩摩屋敷)に住む留



芙美子から森本六爾宛の書簡と写真(1932.1.30消印)
京都大学大学院文学研究科考古学研究室蔵



森本六爾(1903-1936)
考古学者。1931年から1年程フランスに私費留学し、芙美子と交流があった。



スラバヤ郊外、トラワス村の村長一家と(1943.1)新宿歴史博物館蔵

学生と交友を持ちました。中でも今回は、森本六爾(考古学者)との交友を示す資料を公開しています。資料は、京都大学大学院考古学研究室の原則非公開資料を、特別に貸出しいただきました。森本は、松本清張の小説「断碑」の主人公のモデルでも知られています。資料は、芙美子が森本に宛てた書簡、贈った詩集や写真、メモのほか、森本の日記帳です。芙美子と森本、双方の同日の日記を読み比べてみると、双方の気持ちの揺れがうかがわれます。また、森本の記録や遺品から、交友が帰国後も続いたことが分かります。

○南方派遣の行程

芙美子は、1942(昭和17)年10月に、陸軍報道部の徴用に



芙美子の書齋と遺愛品(展覧会場)

は、尾道市のおのみち文学の館「文学記念室」に常設されています。芙美子は強度の近視で、度の強い眼鏡をかけていました。執筆に熱中すると、眼鏡はずし、顔と机をくっつけるようにしてペンを走らせていたそうです。そのため、机の前に動き、執筆の妨げとならないよう、重量のある机を特別に作らせたのです。

その他、絵画・書、遺愛品、交友を示す書簡(川端康成、渡辺一夫、九鬼周造など)も多数展示しています。

Information

【会期・会場】開催中〜6月9日(日) 北九州市立文学館
【観覧料】大人 500円、中高生 200円、小学生 100円
【お問合せ】北九州市立文学館 093(571)1505 ※月曜日休館

当館の会期終了後も、各巡回展会場それぞれ地域の特色を加えた展示を行います。ぜひ足をお運びください。

【巡回日程】

平成25年6月22日(土)〜7月21日(日) 尾道市立美術館
平成25年10月4日(金)〜11月4日(月) かごしま近代文学館
平成25年11月17日(日)〜平成26年1月26日(日) 新宿歴史博物館



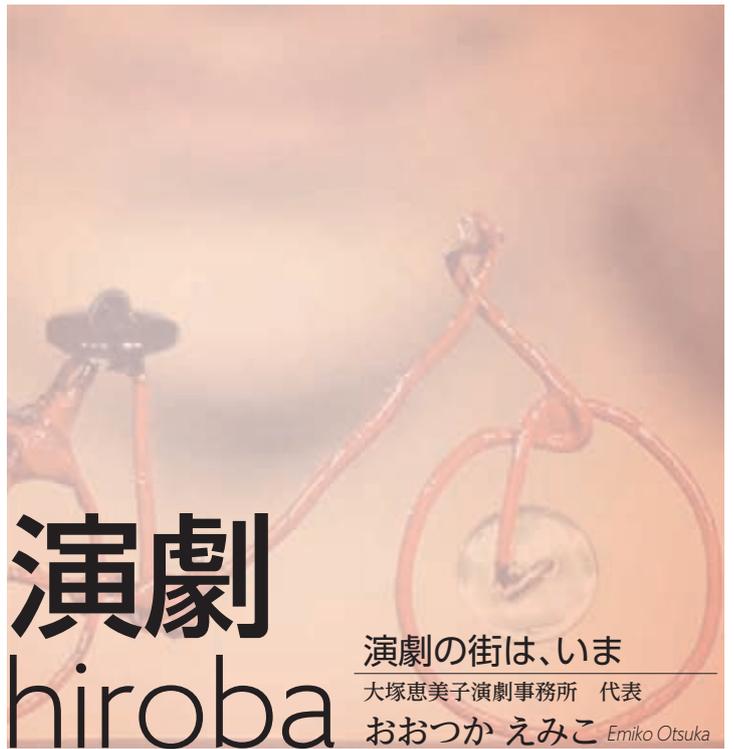
Theatre Madam Bach「ウィンド〜風〜」 ©Christoffer Brekne

子どもを「子ども扱い」しない。
ヨーロッパの児童青少年演劇には
そんな哲学が見える。

7月、ヨーロッパから2本の児童青少年向け演劇作品がやってくる。今回はそれらを紹介したい。

1本は、芸術性の高い児童青少年演劇が展開されていることで世界から注目をあびているデンマークから、「Theatre Madam Bach (シアターマダムバッチ)」の『ウィンド〜風〜』(7月20日・21日/北九州芸術劇場創造工房)。

タイトル通り、「風」をモチーフにした、楽器や身近な小物を用いたパフォーマンスで、対象年齢は2歳以上。次から次へと



演劇 hiroba

演劇の街は、いま

大塚恵美子演劇事務所 代表

おおつか えみこ Emiko Otsuka

様々な風を登場させ、観客を集中させる手法は見事である。このカンパニーには2年前に日本ツアーを行った『雨だれ〜レイン』というレパートリーもあるが、下手に擬人化を行う事なく、それでいて、見終わった後に、雨や風がなんとなく愛おしく思えてくるような作風は、流石アンデルセンの国というべきか。

もう1本は、ドイツから「Theater salz + pfeffer (シアターサルツ+ Pfeffer (シア)の『スティックマン』(7月20日・21日/北九州芸術劇場小劇場)だ。原作はジュリア・ドナ

ルドソン。アクセル・シェフラーとのペアで、日本でも『カタツムリと鯨』『もりでいちばんつよいのは?』などが和訳されている人気絵本作家の作品を人形劇にしたものだ。家族と幸せに暮らしていた、木の枝の形をした「スティックマン」がクリスマス前の日に経験する大冒険のお話。人形劇なのだが、パフォーマンスが堂々と登場して人形を操るうちに、操作者と人形の境目がだんだんなくなっていくのが不思議だ。カンパニーによると対象年齢は4歳〜100歳、文字通り大人から子どもまで楽しめる作品との事。

このような、海外ツアーを数多くこなしている経験値の高いカンパニーの作品を見るたびに、彼らが観客である子どもをとでも良く研究している事に感心する。プロなんだからクライアントの研究など当たり前だ、と鼻で笑われそうだが、対象年齢以外の子どもの入場は頑として受け付けないなど、自分たちの作品がどういう立ち位置にあるのか非常にはっきりしているのだ。

一方日本ではまだまだ「子ども向け」という曖昧な線引きで上演されることが多いように感じる。一口に「子ども」と言っても、未就学児と小学校6年生では、興味の対象も、芸術作品

が伝わるべきメッセージも全く異なる。また、「親子向け」と設定されている作品も「親子で観て意味がある作品」ではなく「子どもを連れてくる親もまあまあ楽しめる作品」でしかないことも多い。

演劇をやっている身としては、日本でも、演劇の持つ教育効果が広く認知され、「教育的」説教臭い」という誤解が解かれればいいと心から願う。そのためには、作り手がしっかりした作品を世に送り出すことも必要なのだろう。そういった決意を新たにするために、この2本の作品には是非足を運びたいと思っている。



Theater salz + pfeffer「スティックマン」

ルーベンス

栄光のアントワープ工房と原点のイタリア

Rubens; Inspired by Italy and Established in Antwerp

4月28日(日)～6月16日(日)

学芸員 奥田 亜希子 Akiko Okuda

Cul 特集Cul② 北九州市立美術館 本館



ペーテル・パウル・ルーベンス
《ロムルスとレムスの発見》
1612-13年頃
油彩・カンヴァス 210×212cm
ローマ カピトリナ絵画館
©ROMA CAPITALE-SOVRINTENDENZA
BENI CULTURALI-MUSEI CAPITOLINI

北九州市立美術館本館では、6月16日まで、「ルーベンス 栄光のアントワープ工房と原点のイタリア」展を開催中です。市制50周年事業の一環として開催される本展には、イタリア、ベルギー、フランス、アメリカなど世界各地の美術館から80点以上の厳選された良作が集結。さらに、世界最古の博物館といわれるカピトリナ絵画館所蔵《ロムルスとレムスの発見》をはじめ、出版される油彩画の多くが日本初公開作品です。

ルーベンスは、アントワープで画家としての修業を始め、1598年には早くも一人前の画家として独立します。1600年から8年に渡ってイタリアで研鑽を積んだルーベンスは、帰国後すぐにスペイン領ネーデルラントの大公夫妻の宮廷画家に任命され、数々の注文に応じていくことになります。ネロが最期に目にするアントワープ大聖堂の《キリストの昇壇画》と《キリストの降架》の祭壇画や、リュクサンブル宮殿のための連作《マリイ・ド・メディシスの生涯》(現 ルーヴル美術館蔵)、ロンドンのホワイトホールの天井画など、ヨーロッパ各地に残る作品は、当時ルーベンスがいかに人気があり重要な画家であったかを示すものです。また、1619年頃から独占版權を得た版画を制作させることで、自らの絵画作品の普及に努め、版画作品によってさらにルーベンスの名声が高まってゆきます。こうした制作活動に加え、1623年頃からは外交官としての使命を帯びて、外国の宮廷に派遣され、イギリスとスペインの和議の成立に貢献するなど、めざましい働きを見せました。

まさに万能人といえる足跡を残したルーベンス。国内での過去最大の展覧会となる本展で



ペーテル・パウル・ルーベンス 《復活のキリスト》
1616年頃 油彩・カンヴァス 183×155cm
フィレンツェ パラディーナ美術館
©Gabinetto fotografico della S.S.P.S.A.E e per il Polo Museale della città di Firenze



ペーテル・パウル・ルーベンス
《聖ドミニッラ》
1606-1607年頃
油彩・紙(板に貼り付け)
ベルガモ アッカデミア・カッラーラ

は、イタリア時代からルーベンスの経営した工房の機能、そして版画制作までの、ルーベンスの画業の全貌にせまります。展覧会会期中には、ベルギー・フランダーズ政府観光局・フランダーズセンター共同講演会や学芸員によるスライド・トークなど、関連イベントを開催し、カフェ・ミュゼにも特別メニューが登場しています。展覧会と合わせて、お楽しみ下さい。

Information

〒804-0024 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町24の1
093(882)7777

【開館時間】午前9時30分～午後5時30分
(入館は午後5時まで)

【休館日】月曜日
(但し月曜日が祝日・振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

【観覧料】

一般 1300円(1100円) 高大生800円(600円)
小中生 600円(400円)

※()内は前売り料金および20名以上の団体料金

Event

●ベルギー・フランダーズ政府観光局・フランダーズセンター共同講演会「ルーベンスゆかりのベルギー・アントワープ」

【日時】5月25日(土) 午後2時より

●学芸員によるスライド・トーク 【日時】6月1日(土) 午後2時より

(公財)北九州市芸術文化振興財団
Kitakyushu City Foundation for Promoting Arts and Culture

かるかる CulCul

Culture&Cultivate

2013
June

6
Vol.2

特集 | 北九州市立美術館 本館

演劇 | 演劇の街は、いま

文芸 | ようこそ文学館へ

美術 | 北九州アートめぐり

漫画 | 漫画と北九州～漫画の「学術研究」とは～

Topic | 北九州芸術劇場 × 北九州市立美術館

音楽 | いろはにびあの

感動の絵との出会い。

Culture&Cultivateかるかるは文化を意味する英語Cultureと芸術に親しむことを意味するCultivateの造語です。
題字に使用しているロゴは北九州生まれの欧文フォントCCArtSans(CCAアートサンズ)を使用しています。